



株式会社エイチーム

**決算説明資料 2017年7月期 Q1**

2016年12月9日

# Index

1. FY2017 Q1 連結決算概要
  2. FY2017 Q1 セグメント別事業詳説
  3. FY2017 Q2 進捗
  4. FY2017 連結業績予想及び進捗
  5. 中長期的な展望
- 
- APPENDIX A : 会社概要
  - APPENDIX B : 主な経営指標

# 1. FY2017 Q1 連結決算概要

2. FY2017 Q1 セグメント別事業詳説
3. FY2017 Q2 進捗
4. FY2017 連結業績予想及び進捗
5. 中長期的な展望

# FY2017 Q1 会計期間決算サマリー (2016.08-10)

## 全社

Y/Y、Q/Qともに増収減益、過去最高の売上を達成

- 売上高 : 7,136百万円 ( Y/Y 154.8%、Q/Q 105.6%)
- 営業利益 : 293百万円 ( Y/Y 56.3%、Q/Q 39.2%)
- 当期純利益 : 138百万円 ( Y/Y 47.4%、Q/Q 27.4%)

※親会社株主に帰属する当期純利益 (本頁以降同様)

## エンターテインメント

Y/Y、Q/Qともに増収減益、過去最高の売上を達成

- セグメント売上 : 4,089百万円 ( Y/Y 175.5%、Q/Q 106.0%)
- セグメント利益 : 302百万円 ( Y/Y 55.0%、Q/Q 42.8%)

ヴァルキリーコネクトとユニゾンリーグがけん引

売上高構成比

**57.3%**

## ライフスタイルサポート

Y/Yは増収増益、Q/Qは増収減益、過去最高の売上を達成

- セグメント売上 : 2,652百万円 ( Y/Y 128.4%、Q/Q 105.5%)
- セグメント利益 : 369百万円 ( Y/Y 101.9%、Q/Q 86.6%)

一部季節要因を除き、サブセグメント事業総じて好調

売上高構成比

**37.2%**

## EC

Y/Y、Q/Qともに増収、過去最高の売上を達成

- セグメント売上 : 393百万円 ( Y/Y 183.6%、Q/Q 102.0%)
- セグメント利益 : -34百万円 ( Y/Y -、Q/Q -)

閑散期にもかかわらず、順調に推移

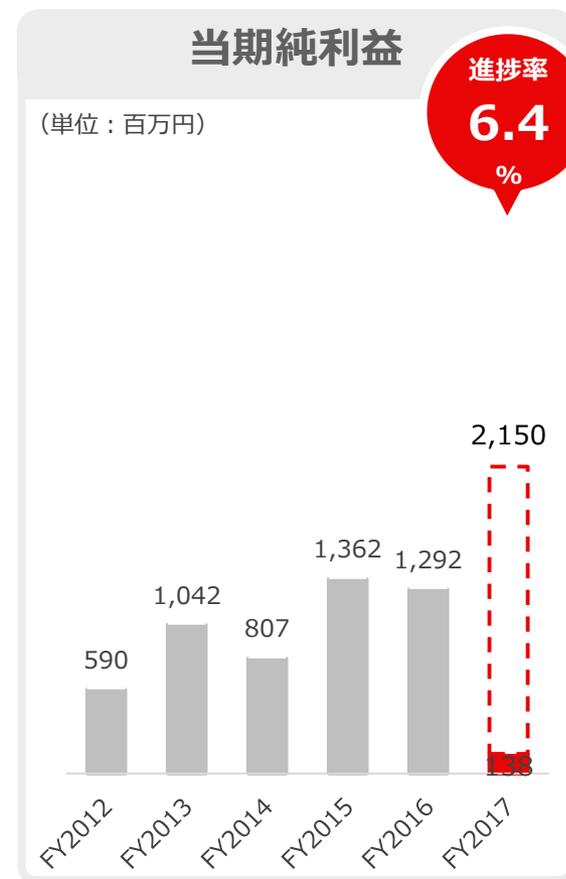
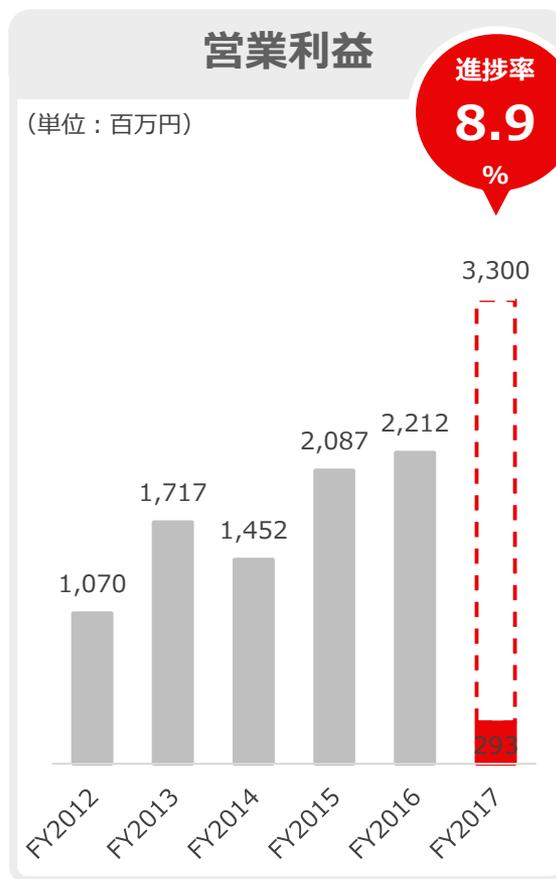
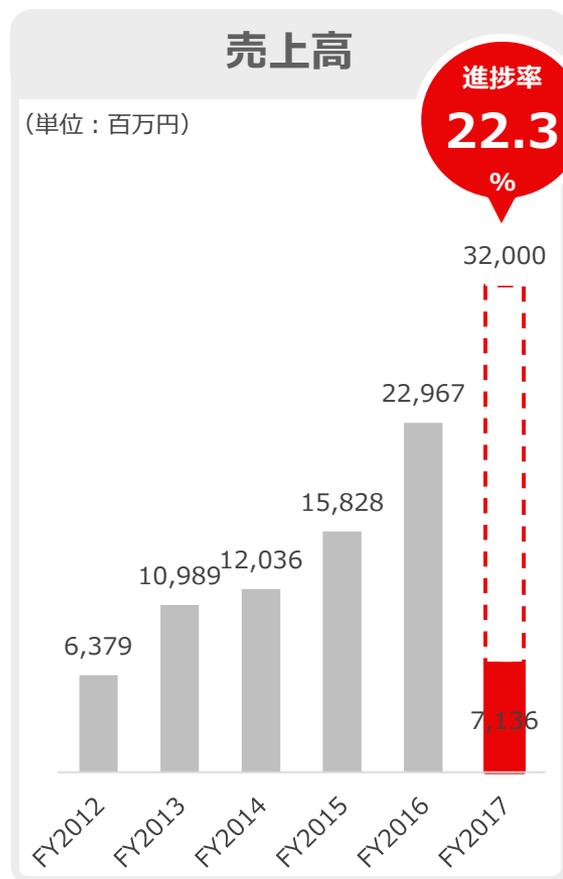
売上高構成比

**5.5%**

# 連結売上高・利益の推移及びFY2017業績予想に対する進捗率

通期業績予想に対してQ1の進捗は概ね想定通り

- (参考) 2016年9月9日発表の通期予想：売上高 320億円、営業利益 33億円、当期純利益 21.5億円



# FY2017 Q1業績概要

売上の上振れによる利益増及び広告費未消化により、利益がQ1予想を大幅に上回り着地

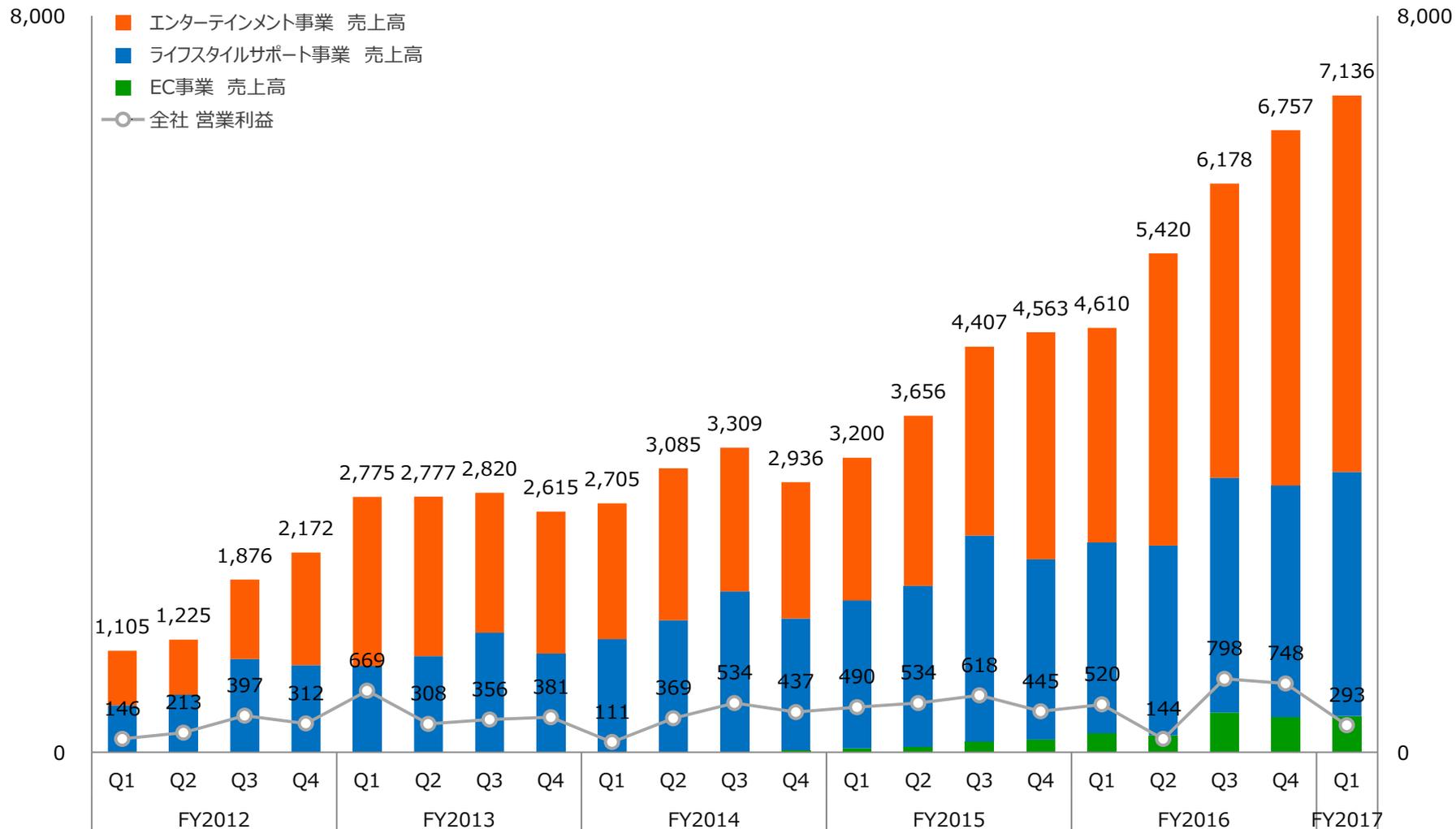
(単位：百万円)

## FY2017 Q1 会計期間 (2016.08 - 10)

	FY2017		FY2016	Y/Y	FY2016	Q/Q	FY2017	進捗率 (対通期)	FY2017	達成率 (対Q1予想)
	Q1	%	Q1		Q4		通期予想		Q1予想	
売上高	<b>7,136</b>	100.0%	4,610	<b>154.8%</b>	6,757	<b>105.6%</b>	32,000	22.3%	7,000	101.9%
営業利益	<b>293</b>	4.1%	520	<b>56.3%</b>	748	<b>39.2%</b>	3,300	8.9%	10	2,934.1%
経常利益	<b>292</b>	4.1%	493	<b>59.2%</b>	736	<b>39.7%</b>	3,250	9.0%	10	2,924.2%
当期 純利益	<b>138</b>	1.9%	291	<b>47.4%</b>	504	<b>27.4%</b>	2,150	6.4%	6	2,303.2%

# 連結四半期売上高・営業利益の推移

(単位：百万円)



※ ライフスタイルサポート事業の季節要因（引越し、自転車EC事業の繁忙期2-4月、自動車関連事業の繁忙期12-翌2月）により、例年Q3（2-4月）がピーク

# 主な経営指標の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2014				FY2015				FY2016				FY17
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
売上高	2,705	3,085	3,309	2,936	3,200	3,656	4,407	4,563	4,610	5,420	6,178	6,757	<b>7,136</b>
営業利益	111	369	534	437	490	534	618	445	520	144	798	748	<b>293</b>
広告宣伝費	1,029	1,123	1,213	912	1,132	1,439	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	<b>3,432</b>
人件費 採用費	647	650	649	691	684	682	695	736	745	805	814	884	<b>872</b>
キャリア手数料 支払手数料	356	434	461	484	484	559	671	869	841	1,171	1,177	1,401	<b>1,468</b>
外注費 サーバー費	276	236	153	159	162	190	197	235	257	267	275	235	<b>254</b>
オフィス賃料	102	107	108	100	110	105	105	111	138	235	177	177	<b>178</b>
期末人員数 (人)	485	502	538	541	531	533	533	530	548	559	574	583	<b>605</b>

※ 四半期末人員数には本体及びグループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員及びアルバイトを含む

※ アルバイトの人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

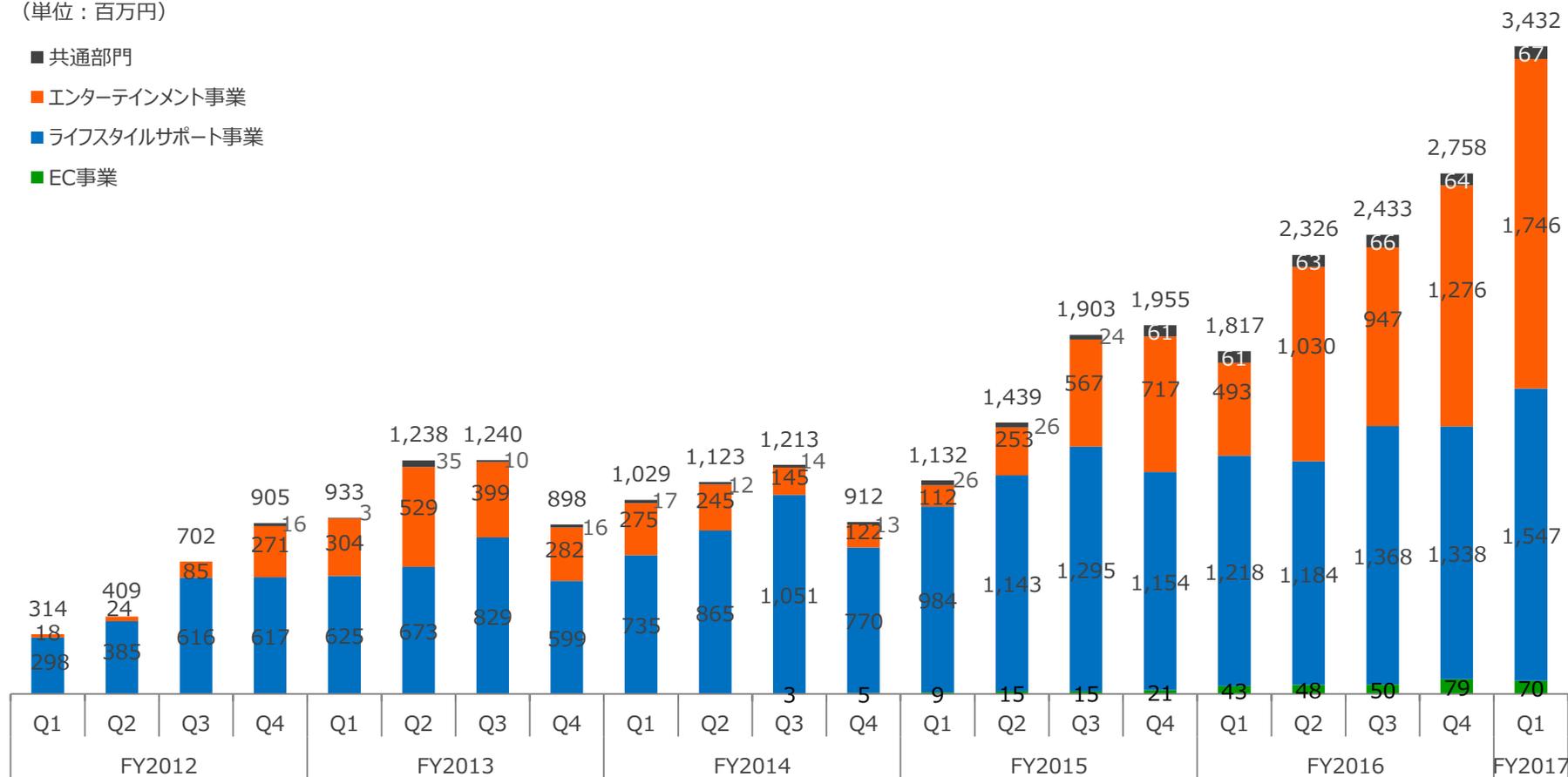
# セグメント別広告宣伝費の四半期推移

エンタメ：ユニゾンリーグのTVCMやヴァルキリーコネクトのWebプロモーション等により、増加

ライフ：ブライダル関連を中心にブランド認知度向上のための広告投資等により、増加

(単位：百万円)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業

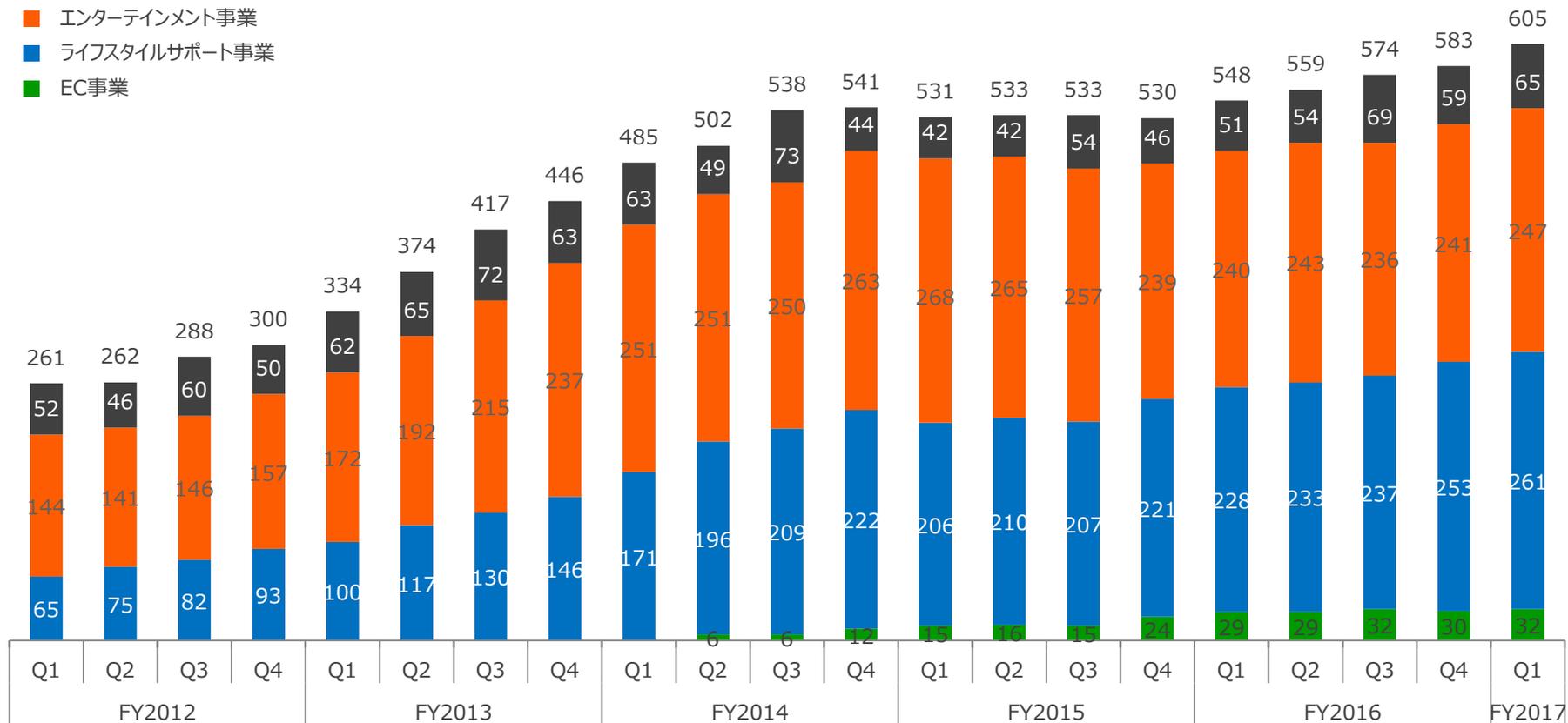


# セグメント別人員数の四半期推移

各事業ともに積極採用により、人員数が増加

(単位：百万円)

- 共通部門
- エンターテインメント事業
- ライフスタイルサポート事業
- EC事業



※ 四半期末人員数には本体及びグループ会社の役員（本社社員に属さない子会社役員を含む）、正社員、契約社員及びアルバイトを含む

※ アルバイトの人員数は四半期平均雇用人数（1日8時間換算）

## 貸借対照表

法人税及び配当金の支払いにより、現預金が減少

短期借入金、未払金の減少により、負債が減少

株式報酬による自己株式の減少により、純資産が増加

(単位：百万円)

	FY2017 Q1	FY2016 Q4
流動資産	<b>6,548</b>	6,918
現預金	<b>3,372</b>	3,505
売掛金	<b>2,481</b>	2,724
固定資産	<b>2,763</b>	2,668
有形固定資産	<b>1,275</b>	1,321
無形固定資産 (ソフトウェア)	<b>694</b>	622
資産合計	<b>9,311</b>	9,586

	FY2017 Q1	FY2016 Q4
流動負債	<b>3,809</b>	4,127
固定負債	<b>388</b>	387
負債合計	<b>4,197</b>	4,514
有利子負債	<b>1,070</b>	1,166
株主資本	<b>5,013</b>	4,971
純資産合計	<b>5,113</b>	5,072
負債純資産合計	<b>9,311</b>	9,586

## 2. FY2017 Q1 セグメント別事業詳説

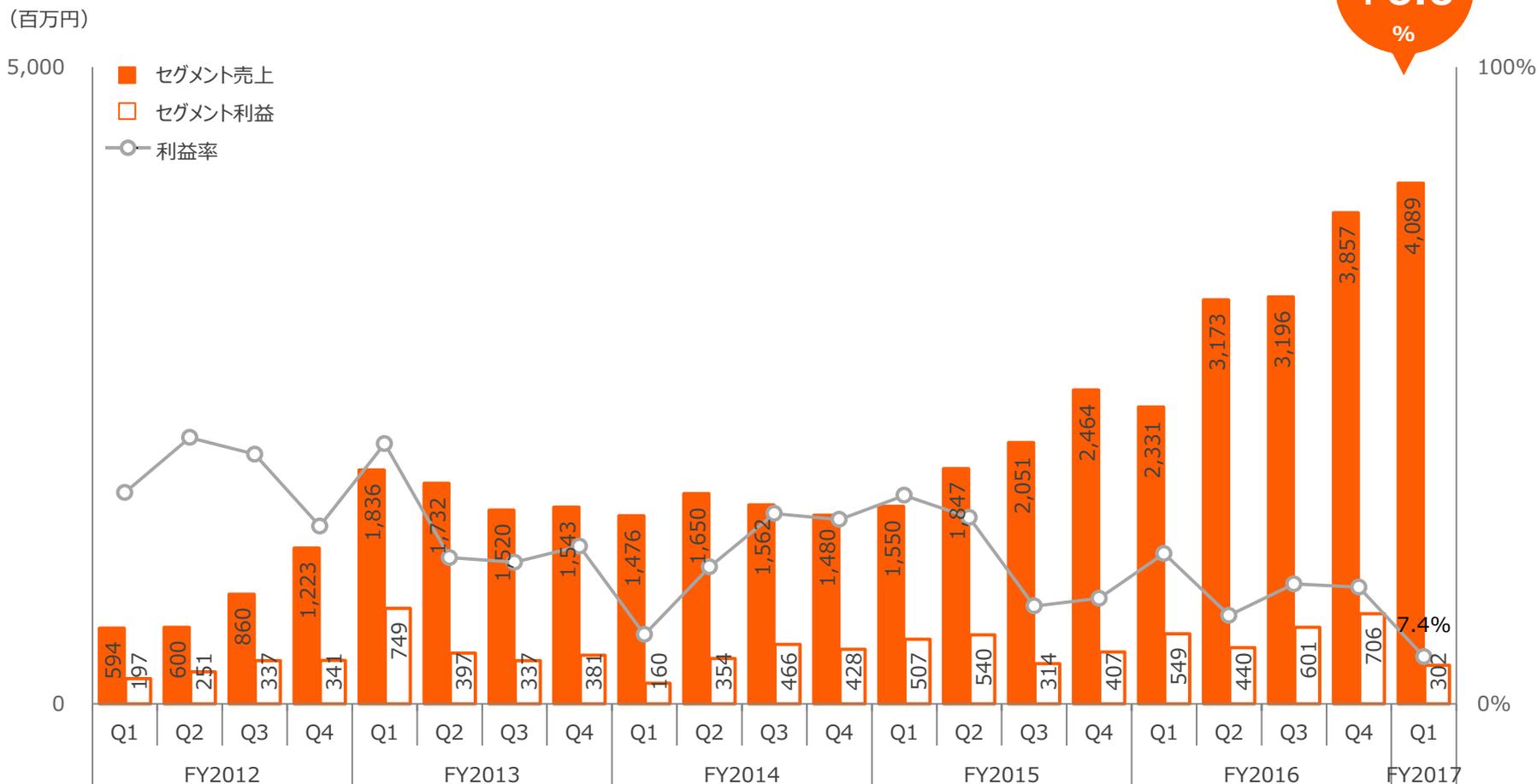
- 3. FY2017 Q2 進捗
- 4. FY2017 連結業績予想及び進捗
- 5. 中長期的な展望

# エンターテインメント事業 四半期売上高・営業利益の推移

ヴァルコネの3か月寄与、ユニゾンのTVCM・コラボイベントが奏功し、過去最高の売上を達成

ユニゾンのTVCMやヴァルコネのWebプロモーション費用により、利益が減少

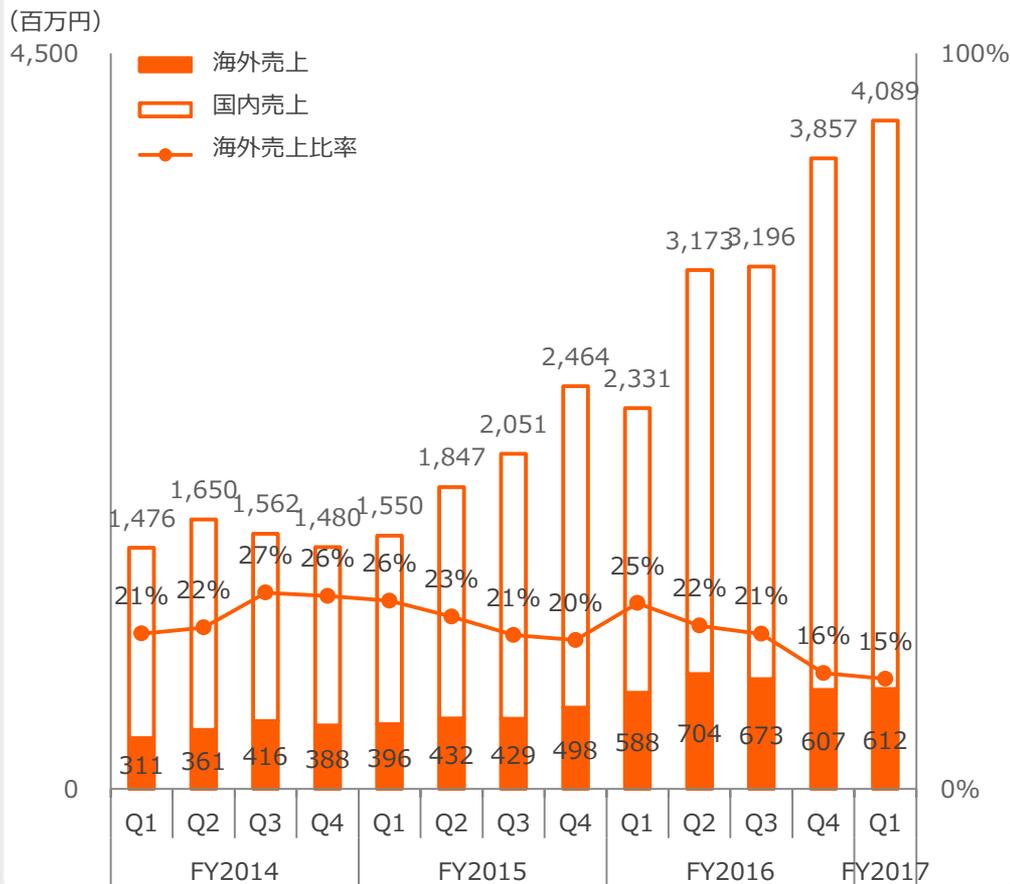
Q/Q  
**+6.0**  
%



# エンターテインメント事業 海外売上比率の四半期推移

海外売上比率 Y/Y 低下、Q/Q 低下

ヴァルコネのグローバル版で海外比率向上を狙う

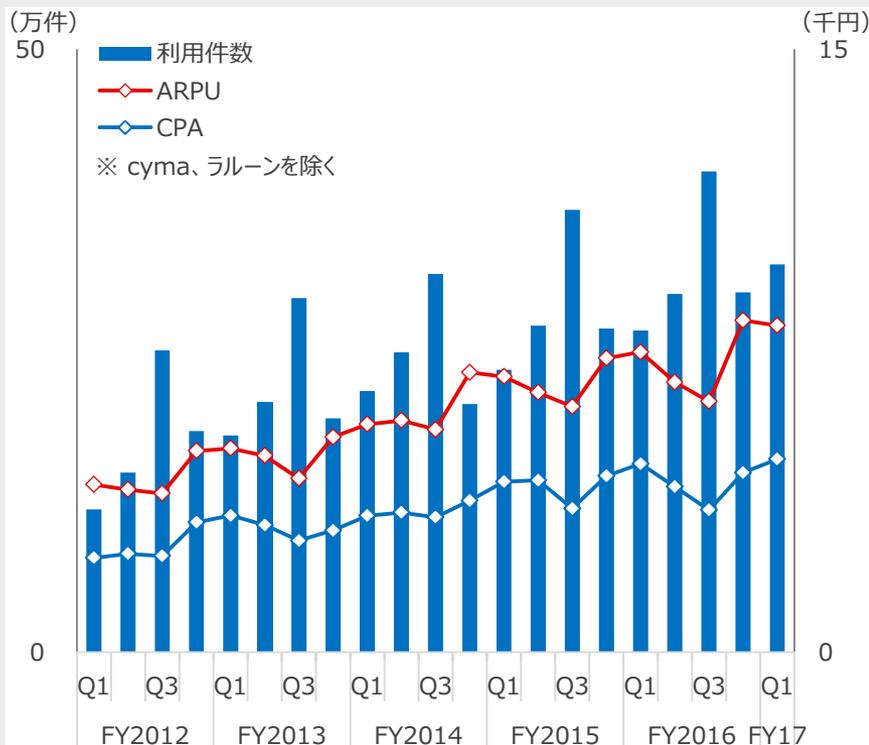


配信国・地域	日本	北米	ヨーロッパ圏	台湾・香港等	韓国	東南アジア圏
ユンゾン	●	●	●	●	●	●
ヴァルコネ	●	※2016/10/20より順次展開				
サマナー	●	英語版				
レギオン	●	英語版				
ダービー	●			●		●
さんずま	●			●		

# ライフスタイルサポート事業 主なKPIの四半期推移

## 利用件数・ARPU・CPA

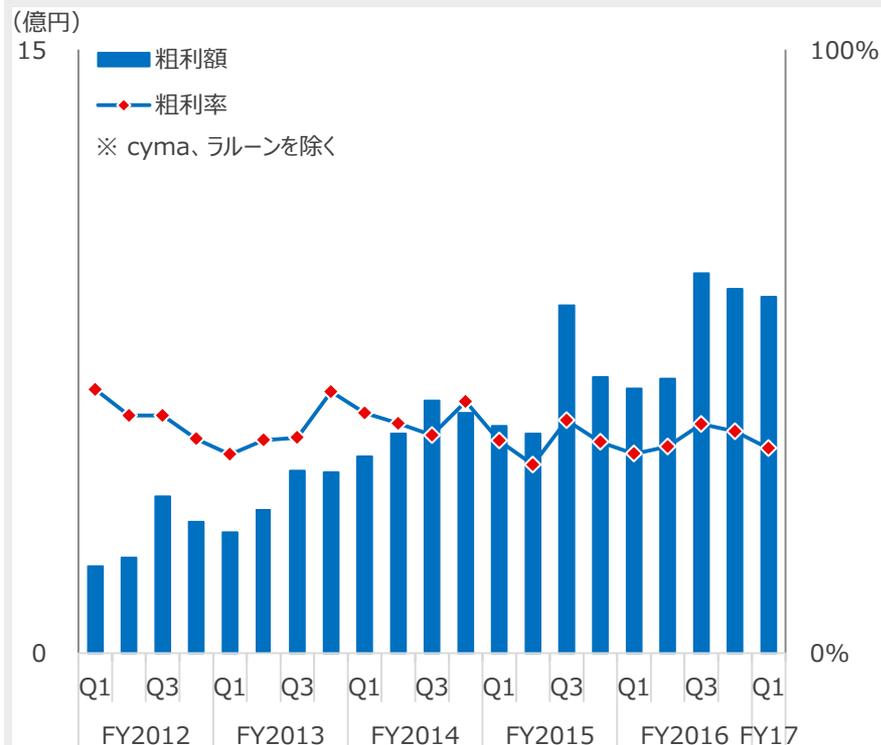
- 例年Q3が利用件数最多、Y/Yで順調に増加
- ARPU、CPAは概ね同様なトレンドで安定推移



- 【①利用件数】= 主要4事業の利用件数 (各サービスの利用件数のうち、売上が発生した件数) の合計 (※同一利用者が複数サービスを利用した場合、獲得コスト発生ベース)
- 【②ARPU: 利用者1人/組あたりの売上高】= セグメント売上 ÷ 【①利用件数】
- 【③CPA: 顧客獲得1人あたりの広告単価】= 広告宣伝費 ÷ 【①利用者数】

## 粗利額・粗利率

- 粗利がY/Yで大幅に増加
- 粗利率は30強~40%弱の水準で安定推移



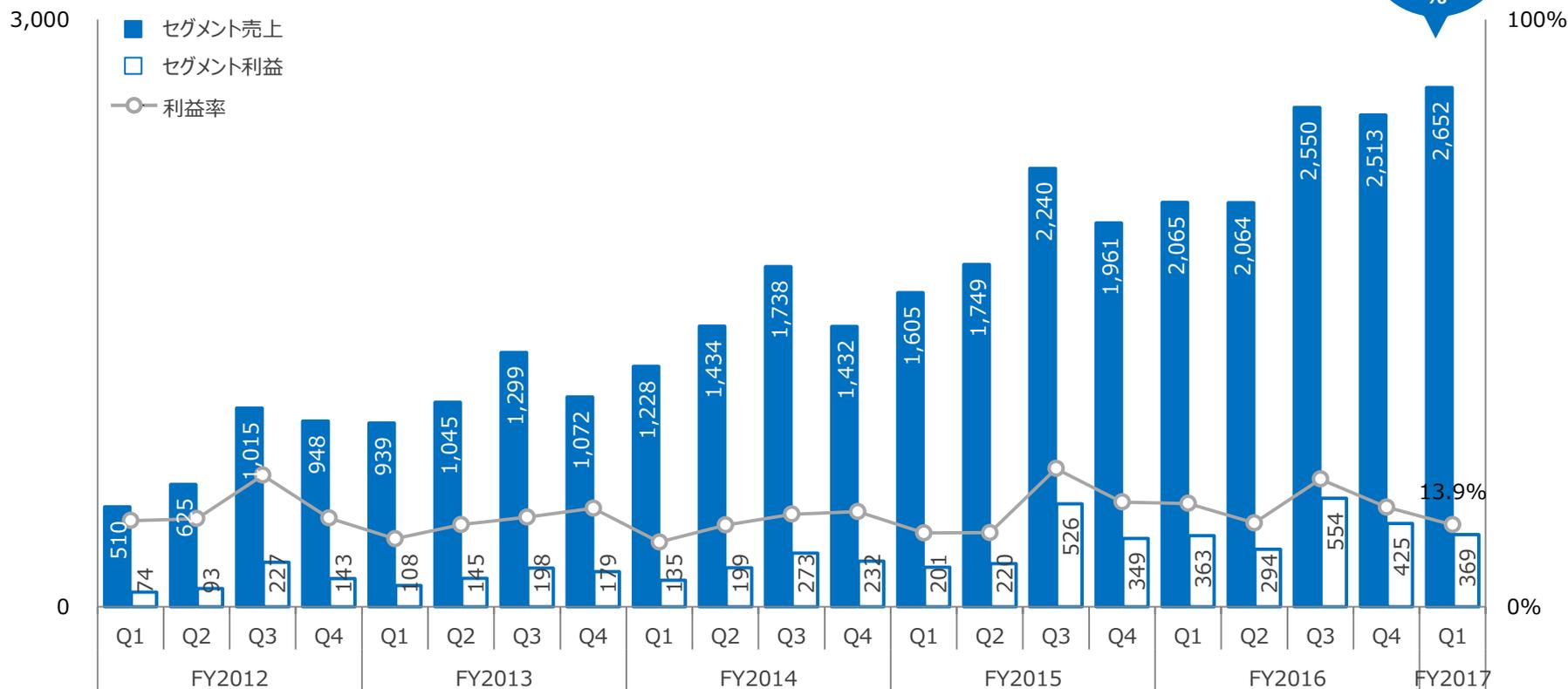
- 【④粗利額】= セグメント売上 - (広告宣伝費 + 仕入原価)
- 【⑤粗利率】= 【④粗利額】 ÷ セグメント売上
- ※ 仕入原価等はGross計上分 (エアコン仕入原価、エアコン工事委託費、ハナユメ定額ウェディング原価、プライダルリング仕入原価、ハナユメフォト仕入原価) が対象

# ライフスタイルサポート事業 四半期売上高・営業利益の推移

各サブセグメント事業が好調、過去最高のセグメント売上を達成

主にブライダル関連の広告投資により、利益率が微減

(百万円)

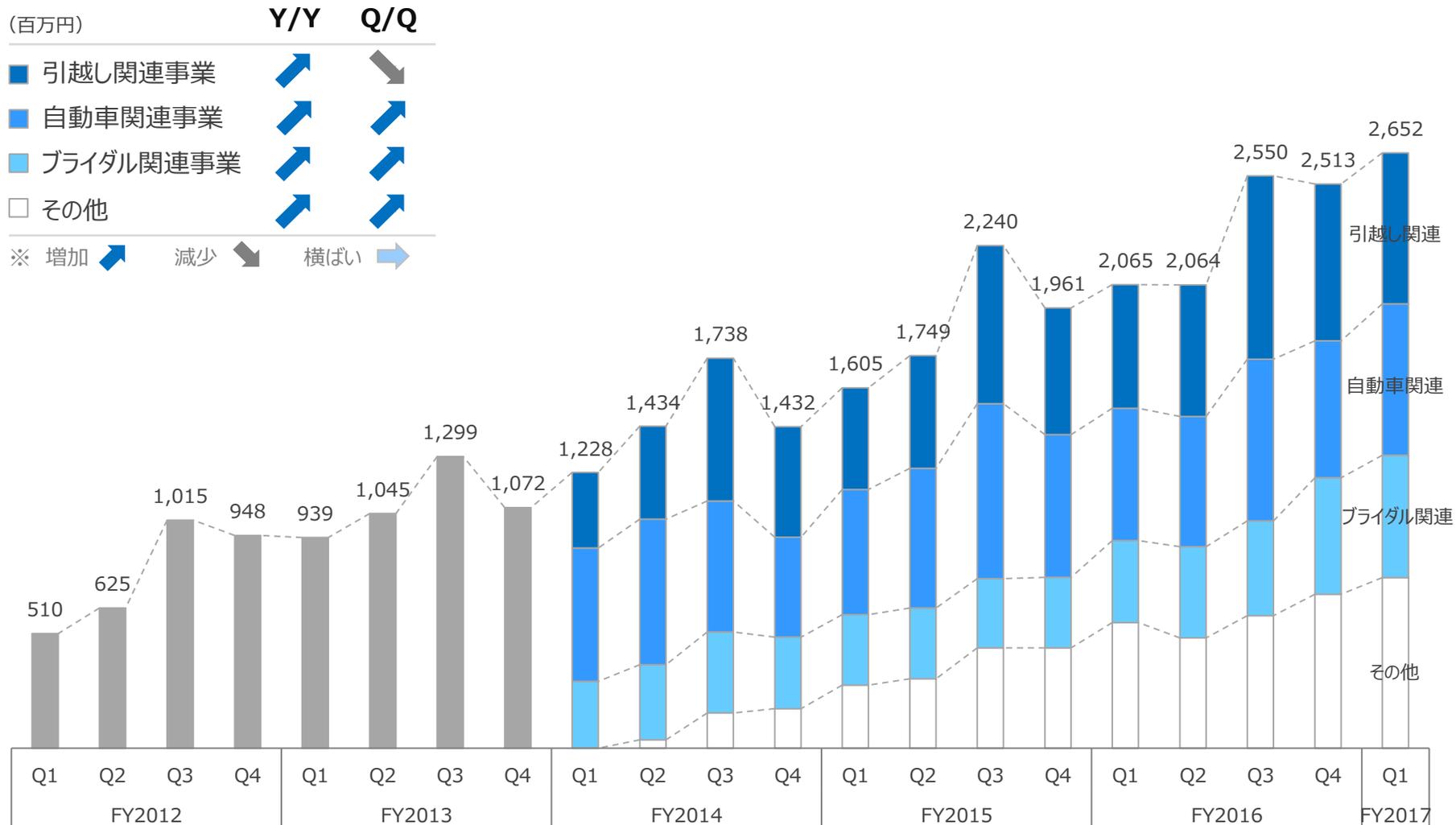


Y/Y  
**+28.4**  
%

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ 本チャートでは、新セグメント区分に基づき、従来の「ライフスタイルサポート事業」から同資料17頁のEC事業の売上・利益を除いた数値を記載しています

# ライフスタイルサポート事業 サブセグメント別四半期詳説

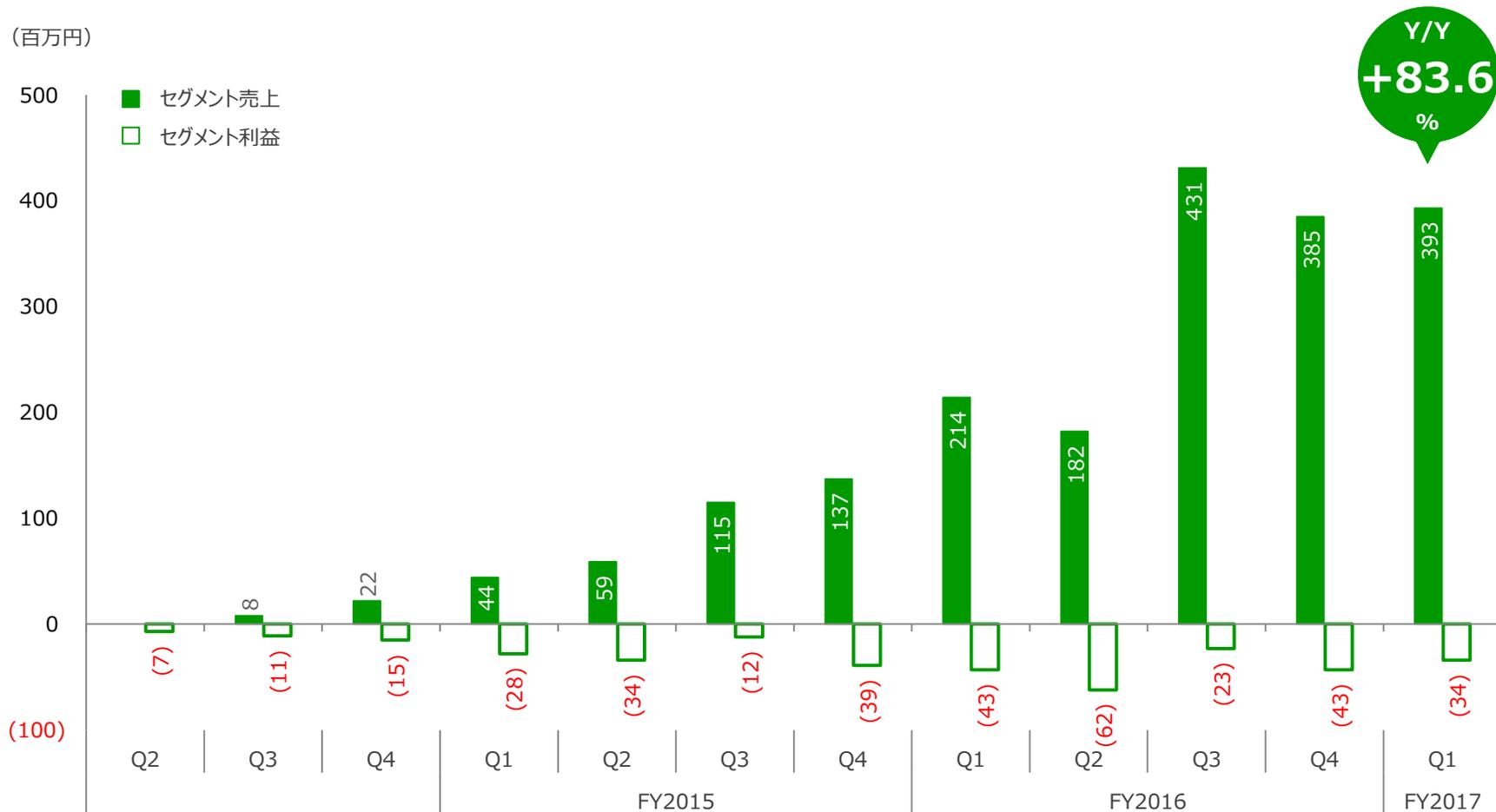


※ FY2012及びFY2013のサブセグメントの内訳は開示いたしておりません。FY2012及びFY2013の売上高は、引越し関連、自動車関連、プライダル関連事業により構成されています

※ EC事業はセグメント変更に伴い、本チャートから切り出し、次頁にてその推移を記載しております

# EC事業 四半期売上高・営業利益の推移

Y/Yで大幅に増収、Q/Qでは閑散期のため微増



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当社事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

※ EC事業の自転車通販サイト「cyma -サイマ-」は2013年12月よりサービスを開始し、FY2014 Q2の売上高は百万円以下のため、非表示となります。繁忙期：3-4月 (Q3)

## 3. FY2017 Q2 進捗

- 4. FY2017 連結業績予想及び進捗
- 5. 中長期的な展望

# セグメント別トピックス

## エンターテインメント

- 放課後ガールズライブ ▶ 事前登録キャンペーン参加数が50万件を突破！
  - ▶ 12/2よりリリースに先駆けTVCM放映開始  
YouTuberによる実況動画も同時公開



- ヴァルキリーコネクト ▶ 11/24に9言語に対応し、全153カ国に配信
  - ▶ 2017年2月に開催の「闘会議2017」へ協賛・出展決定
- ユニゾンリーグ ▶ サービス開始より2周年を迎え、11/30より新イベントを開催
- ダービーインパクト ▶ 東京スポーツとコラボイベントを開催、11/25に新TVCMを放映
- 三国大戦スマッシュ！ ▶ 11/10に累計500万ダウンロードを突破

## ライフスタイルサポート

- ブライダル関連事業 ▶ 11/8より結婚式場情報サイトのサービスブランドを「ハナユメ」へ変更し、Webサイトを一新
 


➔

- 引越し関連事業 ▶ 11/1よりラジオCM人気「～族篇」シリーズの新作続編CMを放送開始
- 自動車関連事業 ▶ 引き続き業界トップシェアを維持

## EC

- 自転車Eコマース ▶ 愛知、東京に加え、兵庫に物流センターを増設、12月より正式稼働

## 4. FY2017 連結業績予想及び進捗

### 5. 中長期的な展望

# FY2017 連結業績予想及び進捗率

Q2以降の業績見通しについては、不確定要素が多く、現時点では従来予想を据え置く

(単位：百万円)

	FY2016 実績		FY2017 (2016.08-2017.07)				
	中間実績	通期実績	Q1実績	中間予想	通期予想	構成比	進捗率 (対通期)
売上高	10,031	22,967	<b>7,136</b>	<b>14,800</b>	<b>32,000</b>	100.0%	<b>22.3%</b>
エンターテインメント事業	5,505	12,559	<b>4,089</b>	-	<b>19,000</b>	59.4%	<b>21.5%</b>
ライフスタイルサポート事業	4,129	9,193	<b>2,652</b>	-	<b>11,200</b>	35.0%	<b>23.7%</b>
EC事業	397	1,214	<b>393</b>	-	<b>1,800</b>	5.6%	<b>21.9%</b>
営業利益	665	2,212	<b>293</b>	<b>300</b>	<b>3,300</b>	10.3%	<b>8.9%</b>
経常利益	606	2,094	<b>292</b>	<b>300</b>	<b>3,250</b>	10.2%	<b>9.0%</b>
当期純利益	308	1,292	<b>138</b>	<b>180</b>	<b>2,150</b>	6.7%	<b>6.4%</b>

※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました

## FY2017 Q2業績の留意点

### 全社

各事業で積極的な投資を実施予定

### エンター テイン メント

国内外で大型プロモーションを実施予定

- | 12/2より、放課後ガールズライブのリリースに先駆け、TVCMを放映決定
- | ヴァルキリーコネクトのグローバル版の世界配信に伴い、各国でプロモーションを実施予定

### ライフ スタイル サポート

ブランド認知度向上のためのプロモーションを実施予定

- | ブライダル関連：「ハナユメ」としてブランド認知度向上及び繁忙期に向け、広告投資を継続予定
- | 一部2月に準繁忙期を迎えるサービスにおいて、プロモーションを実施予定

### EC

ブランド認知度向上のためのプロモーションや体制強化予定

- | 引き続きブランド認知度向上のためのプロモーションを実施予定
- | 兵庫物流センター新規稼働のための採用等、体制強化を含むフルフィルメントの強化

## 配当（再掲）

FY2016通期配当実績は、1株当たり12.5円、配当性向18.2%

FY2017通期配当予想は、1株当たり20.0円。中間配当前期同様、期末配当倍増

今後も業績を勘案しつつ、配当性向20%前後の株主還元を予定

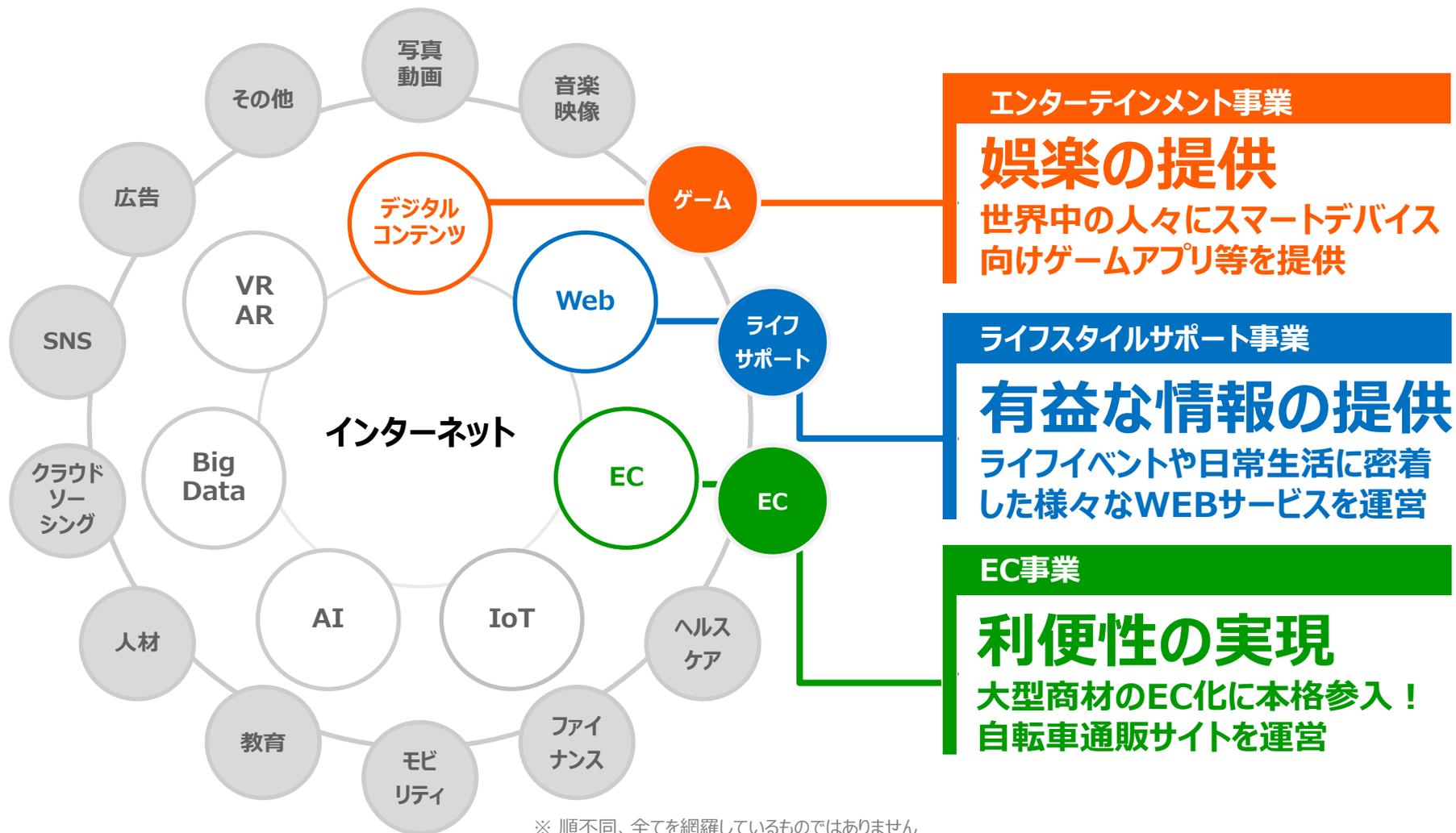
	FY2015 実績		FY2016 実績		FY2017予想	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
基準日	2015/01/31	2015/07/31	2016/01/31	2016/07/31	<b>2017/01/31</b>	<b>2017/07/31</b>
配当実施日	2015/04/03	2015/10/13	2016/04/04	2016/10/07	<b>2017年4月 (予定)</b>	<b>2017年10月 (予定)</b>
1株当たり 配当金	5円 00銭	7円 50銭	5円 00銭	7円 50銭	<b>5円 00銭</b>	<b>15円 00銭</b>
配当総額	238,021,850円		239,196,500円		-	-
(通期) 配当性向	17.7%		18.2%		<b>20%前後 (予定)</b>	

※当社は平成27年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたしました。そのため、FY2015の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当金額を算定しております。従いまして、FY2015の1株当たりの配当金額は過去に当社が発表した数値と異なります

## 5. 中長期的な展望

# エイチームの目指す姿

今後もインターネットを使った様々なビジネス領域に挑戦し続けます！



## 事業の展望（数字を約束するものではありません）

### 全社

既存の三つの事業軸を基本としながらも、枠にとらわれず、様々な事業にチャレンジし、新たな収益源を創出します

### エンターテインメント

- | 日本で企画・開発・運営、世界中に人々に娯楽を提供
  - 北米だけでなく、欧州市場、さらにアジア圏を狙う
- | 全世界に向けて月商10億円規模のアプリを複数創出
  - 英語版を中心に海外売上比率50%強を目指す

### ライフスタイルサポート

- | 既存のメイン4サービスそれぞれ年商50億円規模に
  - 4サービスの合計で年商200億円～300億円規模をイメージ
- | 有益な情報を提供し、生活をより豊かに、より便利にするサービスを順次開拓

### EC

- | 自転車通販No.1サイトを目指す
  - 3年以内に国内自転車販売台数の3%を目指す
- | まだEC化が進んでいない商材へ挑戦

# APPENDIX A

## 会社概要

# 会社概要 (2016年10月31日現在)

商号	株式会社エイチーム (Ateam Inc.)
株式公開市場	東京証券取引所 第一部 (コード: 3662)
本社	大名古屋ビルヂング 32F
大阪オフィス	梅田阪急ビル オフィスタワー 26F
東京オフィス	品川イーストワンタワー8F
設立	2000年2月29日
決算期	7月
取引銀行	三菱東京UFJ銀行 名古屋営業本部 三井住友銀行 名古屋駅前法人営業部
監査法人	有限責任監査法人トーマツ
グループ会社 (100%子会社)	株式会社エイチームブライズ (旧 A.T.brides) 株式会社エイチーム引越し侍 (旧 引越し侍) 株式会社エイチームライフスタイル 株式会社エイチームコネクト (旧 A.T.サポート)
売上高 (連結)	22,967,773千円 (2016年7月期)
経常利益 (連結)	2,094,629千円 (2016年7月期)
人員数 (連結)	社員559名 (アルバイトを除く)、役員8名



大名古屋ビルヂング



本社受付



梅田阪急ビル



品川イーストワンタワー

## 三つの事業軸

インターネットやスマートデバイス（スマートフォン・タブレット端末）を通じ、  
コンシューマー（個人利用者の皆様）向けに自社サービスを提供



コンシューマー（個人利用者の皆様）

インターネット・スマートフォン・タブレット端末

エンターテインメント事業

### 娯楽の提供

「人と人とのつながり」をテーマに、  
世界中の人々にスマートデバイス向け  
ゲームやツール等のアプリケーションを  
企画・開発・運営

ライフスタイルサポート事業

### 有益な情報の提供

人生のイベントや日常生活に  
密着した比較サイト、情報サイト等  
様々なウェブサービスを  
企画・開発・運営

EC事業

### 利便性の実現

自社在庫を持ち、独自の物流網を構築  
自転車をはじめ、EC化の難関である  
大型商材のEC化に本格参入！  
ECサイトを企画・開発・運営

※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」三つになりました。

# 事業セグメント



## エンターテインメント事業

スマートデバイス向けゲームや  
便利なツールアプリ等を通して  
世界中の人々に娯楽を提供

### ゲームアプリ



### ツールアプリ



## ライフスタイルサポート事業

「有益な情報」を提供し、  
生活をより便利にする様々な  
ウェブサービスを運営

### 引越し関連事業



### 自動車関連事業



### ブライダル関連事業



### 金融メディア事業



## EC事業

完全組立自転車が自宅に届く  
自転車通販No.1を目指し、  
ECサイトを企画・開発・運営



### 自転車Eコマース事業



※ FY2017（2016年8月1日）より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」3つになりました。

# エンターテインメント事業 主要ゲーム&ツールアプリ

## Game Apps

### ミッドコア RPG (ロールプレイングゲーム)



事前登録  
受付中  
放課後  
ガールズドライブ



ヴァルキリーコネクト



ユニゾンリーグ



レギオンウォー



ダークサマナー

### アクション



三国大戦スマッシュ!

### シミュレーション



ダービーインパクト

### パズル



ポンゴコンボ

### 麻雀



麻雀 雷神 - Rising -

### 公式サイト



エターナルゾーン



ミリオンヴァース

## Tool Apps

### SNS



ジャム

### スマホ着せ替え



[+]HOME

### ZeoApp シリーズ (無料で使える便利ツール)



快眠サイクル  
時計



楽々  
カロリー管理



アイトレ3D



3分  
フィットネス



さくさく  
英単語



きせかえ  
ミラー

# ライフスタイルサポート事業 主要サービス

## 引越し 関連事業



引越し比較・予約サイト

- 一度の入力で最大10社の引越し業者から見積を取得できる「一括見積サービス」
- ネットで引越しの予約まで出来る業界初の「予約サービス」も運営
- 提携引越し業者数は全国で230社以上
- 業界シェアトップ

## 自動車 関連事業



車査定・車買取サイト

- 47秒カンタン入力、一度の入力で最大10社の中古車買取り業者から見積を取得
- 厳正な基準を満たした一流業者と提携
- 業界シェアトップ

## ブライダル 関連事業



結婚式場情報サイト

- Web・無料相談デスクで全国700以上の結婚式場から会場をご紹介
- 「ハナユメ特典」を使って質の高い結婚式を「お得」に実現
- プロの専任アドバイザーがいる実店舗を全国に展開
- 後払い・ご祝儀払いができる結婚式場もご紹介

## 金融 メディア 事業



キャッシング・カードローン総合  
検索サイト

- 厳選した大手銀行、消費者金融のサービスを徹底比較
- 金利が低い・無利息期間あり・即日融資・収入証明不要など、希望条件に合うサービスを容易に検索

## 女性向け ヘルスケア 事業



女性向け生理日予測  
・体調管理アプリ

- 無料で生理日・排卵日が予測できるスマホアプリ
- 毎日変化する妊娠の可能性やお肌の調子わかる、わかりやすいグラフで基礎体温や体重も楽々管理
- 生理・妊娠・避妊から美容・健康まで女性に必要な知識を提供、匿名で相談も可能

# EC事業

## 自転車 E-コマース 事業

**cyma** -サイマ-  
life & discovery

自転車通販サイト「サイマ」

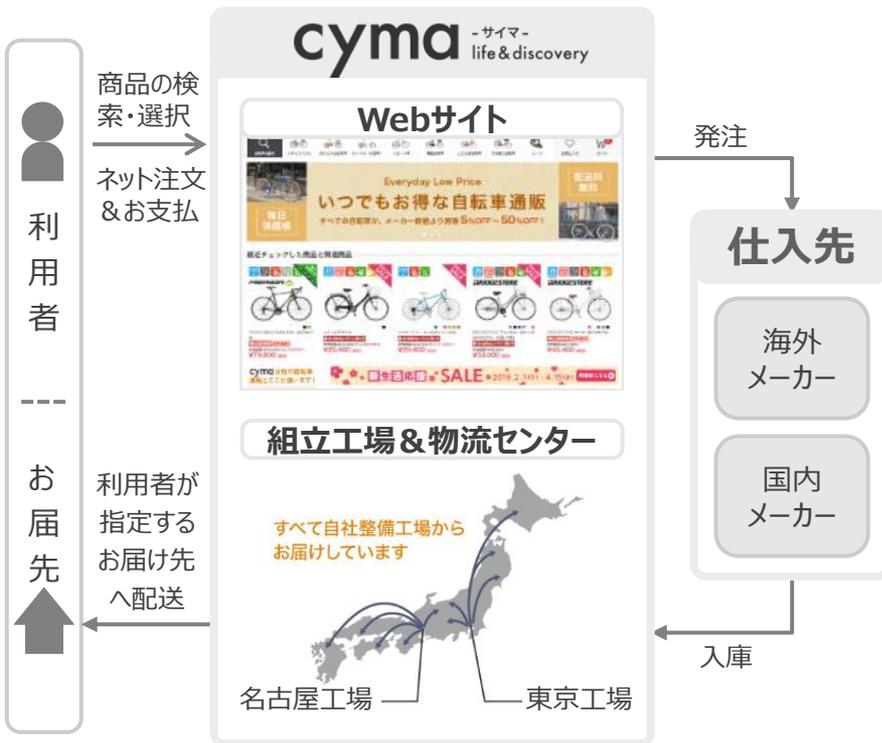
- シティサイクルから本格的なスポーツ車まで、豊富な200種類以上の自転車を取扱い
- 専属の整備士が整備を行い、すぐに乗れる状態でご自宅までお届け
- 1年間の無料出張修理など、cyma独自の「自転車あんしんサポート」を提供



**cyma** -サイマ-  
life & discovery



【B2C】利用者からの収益 (Gross)



※ FY2017 (2016年8月1日) より、自転車ECを単独セグメント化し、当事業セグメントは「エンターテインメント事業」、「ライフスタイルサポート事業」、「EC事業」三つになりました。

# APPENDIX B

## 主な経営指標

# P/L (FY2015 Q1 - FY2017 Q1)

(単位：百万円)

	FY2015				FY2016				FY2017
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
<b>売上高</b>	<b>3,200</b>	<b>3,656</b>	<b>4,407</b>	<b>4,563</b>	<b>4,610</b>	<b>5,420</b>	<b>6,178</b>	<b>6,757</b>	<b>7,136</b>
Q/Q 増減率 (%)	9.0	14.2	20.6	3.5	1.0	17.6	14.0	9.4	5.6
エンターテインメント事業	1,550	1,847	2,051	2,464	2,331	3,173	3,196	3,857	4,089
ライフスタイルサポート事業	1,605	1,749	2,240	1,961	2,065	2,064	2,550	2,513	2,652
EC事業	44	59	115	137	214	182	431	385	393
売上原価	521	533	615	718	763	825	987	1,038	1,105
原価率 (%)	16.3	14.6	14.0	15.8	16.6	15.2	16.0	15.4	15.5
販売管理費	2,189	2,587	3,173	3,399	3,326	4,450	4,392	4,969	5,737
販売管理費率 (%)	68.4	70.8	72.0	74.5	72.1	82.1	71.1	73.6	80.4
費用総額 (売上原価+販売管理費)	2,710	3,121	3,789	4,118	4,089	5,276	5,380	6,008	6,843
人件費・採用費	684	682	695	736	745	805	814	884	872
広告宣伝費	1,132	1,439	1,903	1,955	1,817	2,326	2,433	2,758	3,432
エンターテインメント事業	112	253	567	717	493	1,030	947	1,276	1,746
ライフスタイルサポート事業	984	1,143	1,295	1,154	1,218	1,184	1,368	1,338	1,547
EC事業	9	15	15	21	43	48	50	79	70
支払手数料等	484	559	671	869	841	1,171	1,177	1,401	1,468
外注・サーバー費	162	190	197	235	257	267	275	235	254
オフィス賃料	110	105	105	111	138	235	177	177	178
その他費用	136	145	215	209	289	470	501	551	636
<b>営業利益</b>	<b>490</b>	<b>534</b>	<b>618</b>	<b>445</b>	<b>520</b>	<b>144</b>	<b>798</b>	<b>748</b>	<b>293</b>
Q/Q 増減率 (%)	12.0	9.0	15.7	-28.0	17.0	-72.2	452.0	-6.3	-60.8
エンターテインメント事業	507	540	314	407	549	440	601	706	302
ライフスタイルサポート事業	201	220	526	349	363	294	554	425	369
EC事業	-28	-34	-12	-39	-43	-62	-23	-43	-34
営業利益率 (%)	15.3	14.6	14.0	9.8	11.3	2.7	12.9	11.1	4.1
経常利益	495	565	650	452	493	112	751	736	292
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>328</b>	<b>353</b>	<b>401</b>	<b>278</b>	<b>291</b>	<b>17</b>	<b>479</b>	<b>504</b>	<b>138</b>

# P/L (FY2011 - FY2016)

(単位：百万円)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	Y/Y (%)
<b>売上高</b>	<b>4,064</b>	<b>6,379</b>	<b>10,989</b>	<b>12,036</b>	<b>15,828</b>	<b>22,967</b>	<b>+45.1</b>
Y/Y 増減率 (%)	15.5	57.0	72.3	9.5	31.5	45.1	-
エンターテインメント事業	2,499	3,278	6,632	6,169	7,914	12,559	+58.7
ライフスタイルサポート事業	1,564	3,100	4,357	5,866	7,914	10,408	+31.5
売上原価	906	927	1,392	2,132	2,389	3,615	+51.3
原価率 (%)	22.3	14.5	12.7	17.7	15.1	15.7	+0.6
販売管理費	2,709	4,381	7,880	8,451	11,351	17,139	+51.0
販売管理費率 (%)	66.7	68.7	71.7	70.2	71.7	74.6	+2.9
費用総額 (売上原価+販売管理費)	3,615	5,309	9,272	10,583	13,740	20,755	+51.0
人件費・採用費	1,297	1,540	2,083	2,638	2,816	3,250	+16.1
広告宣伝費	1,035	2,331	4,310	4,279	6,430	9,335	+45.2
エンターテインメント事業	125	399	1,571	789	1,651	3,748	+126.9
ライフスタイルサポート事業	907	1,914	2,673	3,431	4,640	5,330	+14.9
支払手数料等	530	624	1,600	1,737	2,586	4,592	+77.6
外注・サーバー費	218	250	528	826	785	1,035	+31.8
オフィス賃料	151	190	337	420	433	728	+67.8
その他 (費用総額-上記費用)	383	371	411	682	706	1,812	+156.6
<b>営業利益</b>	<b>448</b>	<b>1,070</b>	<b>1,717</b>	<b>1,452</b>	<b>2,087</b>	<b>2,212</b>	<b>+6.0</b>
Y/Y 増減率 (%)	82.7	138.5	60.4	-15.4	43.8	6.0	-
エンターテインメント事業	705	1,126	1,866	1,409	1,770	2,297	+29.7
ライフスタイルサポート事業	178	539	632	805	1,183	1,464	+23.7
営業利益率 (%)	11.0	16.8	15.6	12.1	13.2	9.6	-3.6
経常利益	446	1,047	1,718	1,470	2,164	2,094	-3.2
税引前当期純利益	435	1,008	1,688	1,364	2,091	1,858	-11.2
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>258</b>	<b>590</b>	<b>1,042</b>	<b>807</b>	<b>1,362</b>	<b>1,292</b>	<b>-5.1</b>

※当社はFY2013 Q3より連結財務諸表を作成しております。なお、連結では当社が新設し、既存事業をそれぞれ承継させた100%子会社3社を範囲に含めたものでありますため、FY2011及びFY2012の財務諸表数値を含め、連結財務データを記載しております。

# B/S (FY2011 - FY2016)

(単位：百万円)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
<b>資産の部</b>						
流動資産	1,340	2,709	3,760	4,034	6,334	6,918
現預金	553	1,339	1,944	2,217	3,097	3,505
固定資産	460	443	881	1,470	1,322	2,668
有形固定資産	40	45	102	120	125	1,321
無形固定資産	159	120	410	355	460	622
投資その他の資産	261	277	367	994	736	724
<b>資産合計</b>	<b>1,801</b>	<b>3,153</b>	<b>4,641</b>	<b>5,504</b>	<b>7,656</b>	<b>9,586</b>
<b>負債の部</b>						
流動負債	657	1,153	1,136	1,305	3,648	4,127
固定負債	105	0	0	0	0	387
<b>負債合計</b>	<b>763</b>	<b>1,153</b>	<b>1,136</b>	<b>1,305</b>	<b>3,648</b>	<b>4,514</b>
有利子負債	270	100	0	0	1,700	1,166
<b>純資産の部</b>						
株主資本	1,038	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971
自己株式	0	0	0	0	-1,403	-1,222
新株予約権	0	0	5	67	108	100
<b>純資産合計</b>	<b>1,038</b>	<b>1,999</b>	<b>3,505</b>	<b>4,198</b>	<b>4,008</b>	<b>5,072</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,801</b>	<b>3,153</b>	<b>4,641</b>	<b>5,504</b>	<b>7,656</b>	<b>9,586</b>

※当社はFY2013 Q3より連結財務諸表を作成しております。なお、連結では当社が新設し、既存事業をそれぞれ承継させた100%子会社3社を範囲に含めたものでありますため、FY2011及びFY2012の財務諸表数値を含め、連結財務データを記載しております。

## その他経営指標 (FY2011 - FY2016)

	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
発行済株式総数 (株)	16,050,000	18,393,000	19,195,000	19,349,200	19,405,600	19,450,000
自己株式数 (株)	0	0	0	0	580,020	574,020
期中平均株式数 (株)	16,050,000	16,882,352	18,933,262	19,255,641	19,310,191	18,846,317
<b>EPS (1株当たり当期純利益、円)</b>	<b>16.09</b>	<b>34.99</b>	<b>55.04</b>	<b>41.96</b>	<b>70.54</b>	<b>68.58</b>
EPS増減率 (%)	-	117.5	57.3	-23.8	45.6	-2.8
<b>ROA (総資産経常利益率、%)</b>	<b>25.9</b>	<b>42.3</b>	<b>44.1</b>	<b>29.0</b>	<b>32.9</b>	<b>24.3</b>
1株当たり純資産 (円)	64.7	108.7	182.4	213.5	207.2	263.4
1株当たり配当金額 (円)	0.00	0.00	10.61	10.00	12.50	12.50
中間配当額 (円)	0.00	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00
配当総額 (百万円)	0.00	0.00	203	192	238	239
<b>配当性向 (%)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>19.3</b>	<b>23.8</b>	<b>17.7</b>	<b>18.2</b>
株主資本比率 (%)	57.6	63.4	75.4	75.0	50.9	51.9
自己資本比率 (%)	57.6	63.4	75.4	75.1	50.9	51.9
<b>ROE (自己資本当期純利益率、%)</b>	<b>28.4</b>	<b>38.9</b>	<b>37.9</b>	<b>21.2</b>	<b>33.9</b>	<b>29.1</b>
<b>ROIC (=①÷②、%)</b>	<b>20.3</b>	<b>29.9</b>	<b>30.3</b>	<b>20.8</b>	<b>21.0</b>	<b>25.1</b>
①税引き後営業利益 (百万円)	266	626	1,059	859	1,178	1,539
②運転資本 (=③+④、百万円)	1,308	2,099	3,500	4,130	5,600	6,137
③株主資本 (百万円)	1,038	1,999	3,500	4,130	3,900	4,971
④有利子負債 (百万円)	270	100	0	0	1,700	1,166

※当社は2011年10月27日に1:100、2012/06/01に1:3、2015/05/01に1:2の割合をもって株式分割を行っております。このため、上記にはFY2011の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの金額を算定しております。従いまして、上記には過去に当社が発表した決算書類と異なる数値が一部含まれます。

# 「みんなで幸せになれる会社にする事」

# 「今から100年続く会社にする事」



本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報（forward-looking statements）」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。